

令和2年度学校評価シート

R12.3.1

学校目標:いのちと人権を大切にし、ふるさとを愛し ころ豊かで夢に挑戦する 自立した生徒の育成

評価計画					自己評価							新改善計画	学校関係者評価
観点	項目	具体的方策	評価指標	目標値 (昨年度)	達成値 (今年度)	評価アンケート			昨年 評定	評定	コメント		
確かな学力の定着	目標を持った学校生活	夢や目標の意識化	目標を持って取り組んだ生徒の指数昨年度以上	2.1	2.3	2.4	2.3	2.1	A	A	①コロナ感染症予防の観点で踏まえての、新たな授業スタイルの構築。②「加美中学習スタイル」の意思統一と徹底。③実効的な小中連携体制の構築と実践。④家庭学習強化月間の実施と、「家庭学習の手引き」の有効活用ならびに教育相談の実施。⑤計画的な研究授業の実施と保護者への周知。⑥授業時数の確保と反復練習による基礎学力の定着。⑥学力向上プランの作成実行。	○今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による2ヶ月間の臨時休業のため、未履修のないように授業を進めていくことが大変だったと思う。その中で「目標を持った学校生活」の評価が高かったことは、先生方が日々の授業をしっかりと進めていたことの表れであり、評価できる。 ○「家庭学習の習慣化」では、教職員・保護者と生徒の評価に乖離がみられる。具体的にどのように家庭学習をするのか、子どもたちに指導を徹底していく必要があるのではないかと。 ○同じく「楽しく分かりやすい授業」においても教職員と生徒・保護者の差が大きい。アンケート等を活用し、授業満足度や理解度など受け手の思いを把握した上で、指導の工夫や授業の改善を進めてもらいたい。	
	読書の推奨	読書記録による表彰	年間読書量12冊以上の生徒数昨年度以上	20	25				C	B			
	家庭学習の習慣化	「家庭学習の手引き」活用と啓発	家庭学習をしている生徒の指数の昨年度以上	2.2	2.1	1.7	2.1	1.9	C	C			
	楽しく分かりやすい授業	計画的な授業公開による授業改善	授業が楽しく分かりやすいと感じる生徒の指数昨年度以上	2.0	2.1	2.5	2.1	1.7	B	B			
	学力の向上	学力向上プランを活かした授業改善	調査結果を生かした授業改善を評価する教員の指数昨年度以上	2.2	2.2	2.2			B	B			
豊かな心	道徳教育の充実	年1回の授業研究と学年団の授業	道徳指導の工夫改善をした教員の指数昨年度以上	2.4	1.9	1.9	2.3	2.4	A	C	①道徳の時間数確保と学年団による道徳の指導。オープンスクールでの道徳授業の公開と研究授業の実施。②PDCA(*2)による学校行事の工夫改善と、コロナ禍での新たな生活様式に対応した形態の構築。③キャリア教育(*5)の年間計画や人権教育の全体計画の実行。④コロナ下でのボランティア活動の再構築⑤生活部による各種キャンペーンの実施ならびに表彰⑥掃除分担区の見直しと黙々掃除の実施及び清掃指導場所の明確化。⑦手伝いの奨励や個々の生活スケジュール計画など、家庭での生活状況の啓発。⑧定期的な生活状況調査の実施。	○「道徳教育の充実」について、教職員と生徒・保護者の評価に大きな乖離がみられるが、今年度は、感染症防止から道徳の授業公開ができなかったことが理由にあると聞き納得できた。今後も、道徳の授業を大切に、子どもたちの豊かな心の育成に努めて欲しい。 ○同じく「ボランティア活動の充実」についても教職員と生徒の評価が極めて低くなっている。本年度は、コロナ禍の影響で活動の場が限られていたことも分かるが、ボランティア活動の意義については、学校を通して子どもたちへ働きかけていくことを期待する。 ○時間厳守や美化意識については、教職員・生徒の評価と保護者との評価に違いが見られる。学校で学んで実践できることを、日々の生活(家庭)でも実践することができるよう、子どもたちを導いて欲しい。 ○挨拶や規範意識についてはどの評価も高く、加美中学校の生徒が落ち着いた生活を送っていることを表しており安心できる。 ○「学校行事の工夫改善」について、生徒の評価がとても高くなっている。コロナ禍における体育祭や文化祭について、生徒たちができる方法を工夫しながら取り組んでいることが分かった。	
	ボランティア活動の充実	ボランティア活動の場の設定と記録の保存	ボランティア活動に取り組む生徒の指数昨年度以上	1.6	1.3	1.1	1.3	2.1	A	C			
	規範意識の育成	道徳の授業を重視した学級経営	きまりを守る生徒の指数2.5以上	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	A	A			
	挨拶の習慣化	学校だより等による賞賛や生活三訓の掲示等による意識付け	学校家庭地域で挨拶をする生徒の指数2.5以上	2.6	2.7	2.5	2.7	2.6	B	A			
	時間の遵守	生活三訓の掲示等による意識付けと生徒会生活部との連携	学校で時間を守る生徒の指数2.5以上	2.6	2.6	2.7	2.6	1.6	B	B			
	美化意識の高揚	生活三訓の掲示等による意識付けと生徒会美化部との連携	清掃を一生懸命する生徒の指数昨年度以上	2.4	2.5	2.4	2.5	1.8	B	B			
	学校行事の工夫改善	行事評価による工夫改善	学校行事を工夫改善した教員の指数昨年度以上	2.2	2.3	2.3	2.8	2.6	A	A			
健やかな体	SNS運動の取組	生徒会による新ルールの周知と家庭や町教委と連携した取組	生徒のSNS運動取組の指数昨年度以上	2.1	2.2	1.9	2.2	2.1	A	B	①GIGAスクール構想にともなうネットリテラシーの継続指導と、生徒会とタイアップした自治的活動によるSNSルール遵守活動の促進。②学校保健委員会で策定した睡眠時間の確保。③体力向上委員会をふまえた体力向上プランの実行。④危険予測力向上をめざした多様な想定での訓練等の実行。	○SNS運動の取組については、学校だけではなく生徒や家庭としっかりと連携を図り継続的な啓発をしていく必要がある。 ○学校でのケガ防止については、様々な活動をする学校に十分な安全配慮と対策をお願いしたい。 ○防災への意識について、例年なかなか評価が上がらない項目ではあるが、いざというときの自分たちの身の守り方を避難訓練等で継続して指導してもらいたい。	
	柔軟性向上とケガ防止	学校保健委員会のケガ防止プランの実行	日本学校スポーツ振興センターにかかるケガの総件数(4月～1月)昨年度以下	30	18				C	A			
	防災安全への取組	多様な想定での訓練等の実施	生徒の災害事故への心構えの指数昨年度以上	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	A	A			
信頼に応える学校	学校の情報公開	便りやHP(*3)で積極的情報発信	情報公開を評価する保護者の指数2.5以上	2.3	2.4	2.6	2.5	2.4	C	B	①SC(*4)等のより一層の活用。(授業・研修・不登校生徒等の相談)②窓口を一本化し、関係機関と適切に連携。③ケース会議を定例化するなど組織対応の強化と共有化を図る。④生徒支援(不登校)委員会の定例化。⑤地域のゲストティーチャー等地域素材や人材のより一層の活用。⑥生活相談シートの活用	○今年度は、長い臨時休業があり不安を抱える中、HPやはなまる通信でたくさん情報を発信してもらいとても助かった。また、子どもたちの学校での様子について、HPで知ることができたのはとても良かった。 ○ふるさと教育について、自分たちの生まれ育った「多可町」についてもっと好きになって欲しいと思う。加美中学校の学校目標に「ふるさとを愛し」とあるが、子どもたちが是非、この町をもっと好きになってくれることを期待している。 ○いじめの防止については、先生方が一丸となって未然防止に努めてもらいたい。	
	教育活動への満足度	保護者の声に真摯に耳を傾け迅速対応	保護者の教育活動満足の指数昨年度以上	2.4	2.3	2.5		2.3	B	B			
	特別支援教育の推進	専門性を活かした適切な教育支援	特文コーアイネーター・SC等を活用した支援を評価する教員の指数昨年度以上	2.2	2.2	2.2			B	B			
	ふるさと教育推進	関係機関等と連携したふるさとの教育資源の積極活用	ふるさと教育資源活用を評価する教員の指数昨年度以上	1.8	1.9	1.9			C	C			
	不登校いじめ防止の取組	関係機関との連携による不登校対策といじめ防止基本方針の実行	不登校いじめ防止の取組を評価する教員の指数昨年度以上	2.7	2.7	2.7			A	A			
学校目標	人権尊重力	生活ノートや生活相談シートでのいじめの早期発見と対応	人権を尊重する生徒の指数昨年度以上	2.4	2.5	2.5	2.5	2.3	A	A	生活相談シートの活用と対策委員会の定例化。	○どの項目も、生徒評価が昨年度以上であることはとても良いと思う。 ○多可町で取り組んでいる「いのちの教育」について、今後も大切に取り組み人権意識を高めていくことができるよう指導して欲しいと思う。今年度、生徒会が取り組んだ「思いやりの木」や「感謝の放送」はとても素敵な取組であると思う。 ○子どもたちのこれからの人生を見据え、夢の実現に向けた指導を引き続きお願いしたい。	
	ふるさと力	関係機関との連携によるふるさと教育の場の設定	ふるさとを尊重する生徒の指数昨年度以上	2.2	2.3		2.3		B	A	関係機関と連携したふるさと教育推進。		
	ゆめ挑戦力	キャリアノートの作成活用	ゆめに挑戦する生徒の指数昨年度以上	2.3	2.5		2.5		B	A	キャリアノートの作成活用と確実な引継ぎ。		
	自立力	教師の支援による生徒会リーダー研修会による活性化	自立につながる行動や考えを持つ生徒の指数昨年度以上	2.3	2.4		2.4		B	A	教師の支援による生徒会リーダー研修会などによる生徒会活性化。		

※1 生活三訓とは「時を守り・場を清め・礼を正す」こと。 ※2 PDCAとはプラン(計画)ドウ(実行)チェック(評価)アクション(改善)の略 ※3 HPとはネットのホームページの略

※4 SCとはスクールカウンセラーの略称。 ※5キャリア教育とは望ましい職業観・勤労観等を身につけ、自己の個性を理解し、主体的に進路選択する能力・態度を育てる教育

※ 目標値・・・・・・昨年度の評価指標の実績
達成値・・・・・・本年度の評価指標の実績
自己評価指数・・3:よく当てはまる 2:当てはまる 1:あまり当てはまらない

※評定値・・・・・・A 非常によい(全項目2以上かつ目標クリア)
B よい(未達成項目があるもほぼクリアしている)
C 今後改善を検討していく(2項目未達成)

※評価アンケート実施時期について
コロナ感染症対応もあり、
本年度は12月のアンケート調査の一回とした。
※ケガの発生については1月末現在、
※読書調査については2月末現在の数値とする。